

氏名	富田文子	部署	社会福祉子ども学科	職名	助教
研究分野	障害者福祉 職業リハビリテーション 社会福祉行政論				
学位	修士(健康福祉科学)				
学歴	2009年埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉学科 卒業 2012年埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士前期課程 修了 2018年埼玉県立大学大学院保健医療福祉科学研究科博士後期課程 2年次在籍				
経歴	2016年立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科助教 2019年度埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科助教				
所属学会(役職)	日本社会福祉学会 日本職業リハビリテーション学会 日本リハビリテーション連携科学学会				

【2018年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	発達障害白書2019年版 第9章 障害福祉計画における就労系サービスの目標から展望する	共著	明石書店;p.200	朝日雅也、○湯汲英史、富田文子	2018.9
(2) 論文					
1	相談支援事業所等の支援者のための障害者就労支援事業所の選択のツール開発—「大田区ジョブブック」の作成の実践から—	単著	立教大学コミュニティ福祉学部紀要;21;pp.99-113	富田文子	2019.3
(3) 学会発表					
1	「相談支援機関等における就労支援事業所選定ツールの開発に関する研究—東京都大田区の「支援者向け就労支援施設ガイドブック」の作成プロセスから考える—」	単著	日本職業リハビリテーション学会第46回大会、北海道	○富田文子	2018.9
(4) その他					
1	2019社会福祉士過去問題解説集 就労支援サービス第145問・第146問	共著	中央法規出版;pp.186-187,340-341	富田文子	2018.5
1	書評 新版 障害者の経済学	単著	職業リハビリテーション;32(1);p.70	富田文子	2018.9
2	まなびあい学会での発表に向けた学生指導を振り返る—2017年度社会福祉援助技術現場実習の学びから—	共著	立教大学コミュニティ福祉学部まなびあい;11;pp.189-195	○富田文子、岡桃子	2018.10
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省科学研究費(基盤研究C)	重度障害者に対する社会支援に基づく多様な就労形態に関する研究(研究協力者)			2015.4~2019.3
2	立教大学コミュニティ福祉研究所学術研究推進資金企画研究プロジェクトI(教員自由企画型)	視覚障害者に対する福祉分野での就労支援技法の獲得に関する調査研究(研究代表者)			2018.4~2019.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	就労支援サービス	2018.6~2018.8	日本福祉教育専門学校(夜間部)を2クラスを担当し、事例を交えながら、障害者・生活保護受給者等の制度と具体的な支援方法を教授した。		
2	就労支援サービス	2018.10~2019.1	日本福祉教育専門学校(昼間部)を2クラスを担当し、事例を交えながら、障害者・生活保護受給者等の制度と具体的な支援方法を教授した。		
3	就労支援サービス	2018.9~2019.1	具体的な法制度について講義後、実践者をゲストスピーカーを招聘し、現場での事例をもとに就労支援の可能性を示した。		
(2) 演習					
1	基礎演習	2018.4~2018.7	1年次生を対象に大学での基礎的な学習方法について、新聞検索や特例子会社への訪問、ビブリオバトルを交えて講義した。		

2	福祉ワークショップ	2018.4～2018.7	2年次生を対象に、「障害のある人の育つ・学ぶ・働くを学び、支える・自立するを考える」をテーマに、小グループごとに支援機関を訪問させて、障害者の地域ニーズに関する課題とその解決方法について展開させた。	
3	社会福祉入門演習	2018.9～2019.1	1年次後期に、様々な福祉分野についてオムニバス形式で講義を行い、実習教育への関心を高めた。	
4	社会福祉援助技術演習1・2	2018.9～2019.1	2年次生以上で社会福祉士養成のための実習希望者に、相談支援の知識・技術・価値について講義・演習を行った。	
5	社会福祉援助技術演習3	2018.9～2019.1	実習終了学生が、体験事例をもとに振り返りを行い、他分野との連携や気づけなかった考えの共有し、一層の利用者理解を促した。	
6	実習指導	2018.9～2019.1	3年次生以上で障害分野の6名に対して、詳細な障害の理解を進め、各サービスの利用対象と具体的な課題を検討することで、期待した学習効果を上げることができた。	
(3) 実習				
1	社会福祉援助技術現場実習	2018.6～2018.11	障害分野での実習生6名に対して、障害児の療育や相談支援、就労支援に関する機関の機能・役割の理解の深まりと、地域での生活の継続の視点を重視した指導に工夫を凝らした。	
(4) 論文指導				
1	該当なし			
(5) その他				
1	公務員(福祉職)対策	2018.4～2018.11	公務員福祉・心理職を目指す学生のエントリーシートの添削及び面接対策を行った。	
2	実習指導担当学生のコミュニティ福祉学会(まなびあい学会)での発表指導	2018.7～2018.10	「支援者の視点から各ライフステージにおける知的障害者への支援の在り方考える」というテーマについて発表に向けた指導をし、高い評価を得ることができた。	
3	大田区役所との共同研究契約	2018.4～2019.3	大田区役所障がい者総合支援サポートセンターと、障害者雇用とその実践のための研究・助言等を行った。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	平成30年度大田区自立支援協議会就労支援部会 公開セミナー	大田区役所	大田区における障がい者に対する就労支援の取り組み—福祉的就労の経過を踏まえて—	2019.2
2				
3				
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称		任期
1	大田区役所	①自立支援協議会就労支援部会専門委員 ②就労支援協力員		2016.4～現在
2	さいたま障害者就業サポート研修会	事務局員		2016.4～現在
2	MCSハートフルA株式会社	就労継続支援A型事業所 第三者委員		2017.5～現在
3	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟	平成30年度社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格支援委員		2018.4～現在
5	株式会社LITALICO	LITALICOワークス エリアトレーナー養成講師		2018.6～現在
4	埼玉県教育局	平成30年度埼玉県特別支援教育巡回支援員		2018.9～現在
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)				
1	立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科実習委員会 委員			
2	立教大学コミュニティ福祉学部「まなびあい」学会 委員			
3	立教大学コミュニティ福祉学部20周年記念誌 編集委員			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の保有状況				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				

該当なし
